

会報 しんせき 第95号

令和3年12月1日

発行責任者

新関コミュニティ協議会
会長 渡辺 和典

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)

去る11月12日、一般社団法人生命保険協会新潟県協会様から「AED」(自動体外式除細動器)が新関コミュニティ協議会に寄贈され、新関コミュニティセンターで贈呈式が行われました。

贈呈式には寄贈者の一般社団法人生命保険協会新潟県協会会長加見英之様、高山智事務局長様がご出席され、寄贈された側からは秋葉区長夏目久義様、新関コミ協会長(渡辺和典)と事務局長(小林誠一)が参列しました。

AEDは、新関コミュニティセンターが開設されて以来私共がその必要性を強く感じておりました。念願が叶い感激しております。



加見英之の会長様からAEDを贈呈される夏目区長様と新関コミ協会長

AED寄贈される



謝辞を述べる夏目秋葉区長様と新関コミ協会長

御礼のあいさつ

今ほどは、一般社団法人生命保険協会新潟県協会会長加見英之様から「AED」を贈呈していただき誠にありがたく心より感謝申し上げます。

新関コミュニティセンターは今から12年ほど前に開館しました。多くの方から利用していたっており、当初からAEDを備えておきたいと願っております。最近では放課後児童クラブも開設されるなど一段とコミセンの利用度が高くなっています。また、土曜日曜では隣接する小学校のグラウンドや体育館で、少年野球やミニバスなども盛んに行われています。あつてはならないことですが人の命にかかわることです。もしもの時に備え、定期的に使い方の研修を行っていききたいと思います。

重ねて一般社団法人生命保険協会新潟県協会様、そして、この度の応募のかけ橋となってくださった秋葉区長様はじめ担当職員の皆様には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

地域福祉活動計画

新関地区

◆地域の特色

- ♥ 三本の川に囲まれた、緑豊かな地域。
- ♥ 文化の香り、自然豊かな地域。
- ♥ 世代を超えてお互いに挨拶のできる地域。

◆地域のデータ（令和2年3月末現在）

- ・総人口 1,761人（-179人）
- ・自治会・町内会数 9
- ・65歳以上人口 736人（+26人）
- ・高齢化率 41.8%（+5.2%）
- ・世帯数 655世帯（+7世帯）
- ・年少人口 162人（-1人）
- ・75歳以上人口 415人（-60人）
- ・地域の茶の間・いきいきサロン 7か所



※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口の割合
※（ ）内の数字は平成26年3月末現在との比較
※年少人口：0歳～14歳の数

1 明るく元気な地域づくり

- ◆ 小さな輪のつながりが大きな輪へ！
地域にはたくさんの団体（子供会・老人クラブ・奉仕団体・趣味の会など）があり、多種多様である。
→ 連携を図りながら地域の活性化を。
→ 子供から高齢者までの世代間交流ができる行事の実施。
- ◆ 若者に出番を！主役を！
→ 地域の伝統行事（お祭り・賽ノ神・神事など）を核に、若者の参加を組み込み、次世代の人材育成に。
- ◆ 地域から期待される“しんせき児童クラブ”に！
→ 地域ぐるみで子どもを見守る環境づくり。
→ 安心して子育てできる環境づくり。

2 安全で安心な地域づくり

- ◆ 防災の基本は地域の和！
→ 「新関防災の日」で防災意識の向上を。
→ リボンをを使った安否確認訓練と避難訓練。
→ 災害に備える家族防災会議の実施。
- ◆ 大勢の目で地域を見守ろう！
→ “新関安心安全見守り隊”“青色パトロール”で地域巡視、交通安全、不審者対応の充実。

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

3 健康で豊かな地域づくり

- ◆ 豊かな心！健全な精神と健康な体！
→ 地域の豊かな自然に感謝、祖先が残した伝統文化の継承、郷土愛と隣人愛の醸成。
→ “しんせきマップ”を活用した里山ウォークや健康ウォーキングなどで健康増進。
- ◆ 健康意識の向上は自分から！
→ 新潟薬科大学健康自立セミナーの活用と積極的参加。
→ お年寄りが集える場と支援体制の拡充、ボランティアへの参加により自らの健康増進・健康維持を。

4 相談しやすい体制づくり

- ◆ “お茶の間サロン”に集まろう！
→ 地域のお茶の間サロンの充実と支援。
→ 困りごと・悩みごとを気軽に相談できる場。
→ お茶の間サロン交流会の実施。
- ◆ “絆”“つながり”を大切に！
→ 今ある“絆”や“つながり”を大切に守りつつ、新たな関係づくりの推進。
→ 地域内の助け合い・支え合いの輪の広がり
と充実。
→ 様々な場面に“女性の力”を。

■課題の整理

- ・人口減少や高齢化により、地域活動の継続が難しくなっている。
- ・自治会で取り組むもの、コミ協で取り組むもの、連携で取り組むものの整理が必要。
- ・社会の急激な変化や多様化に対し、新しい発想と柔軟な感覚で対応する必要がある。

■今後の方向性

- ・行事や活動（今あるもの・新たなもの）を通して、次世代を担う人材の掘り起こしと育成を図る。
- ・今後も「新関に住んでよかった」「新関に来てよかった」と思える地域にする。
- ・「教育村」という伝統を堅持し、園児や小・中・高校生などの健全育成に寄与している新関を今後も継続する。小学校との連携を保ち、「地域と学校のパートナーシップ事業」の継続推進を図る。

懇談会開催

11月10日

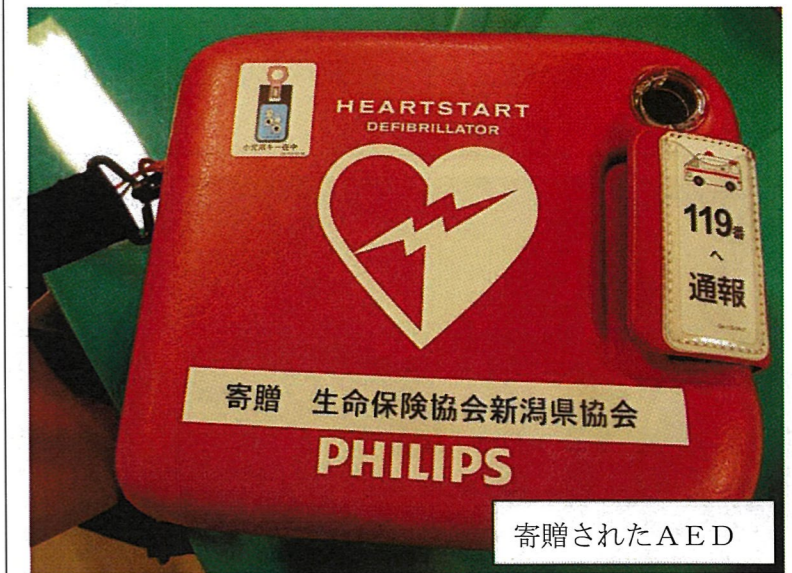
この度、第三期秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画（2021～2026）が策定されました。当新潟コミ協も一昨年自治会のみならず、さまざまな取り組みの様子やこれからの自治会や新関地域の目指すものなど様々な角度からご意見をお聞きし、左記のような形でまとめさせていただきました。

今回の懇談会は、まとめられた内容の周知と各自治会や新潟コミ協が取り組む方向性や課題などを共有し、「笑顔いっぱい・元気いっぱい・夢いっぱい」の新関地域を目指しての話し合いとなりました。コロナの関係で短時間でしたが有意義な会となりました。



関係者の記念撮影

2021/11/12



寄贈されたAED



主催者のあいさつと説明

右から明間健康福祉課長・高橋社協事務局長・市橋社協主事



AEDの使い方講習

AEDの贈呈式と記念写真撮影後、早速フクダ電子新潟販売株式会社の社員様から使い方の説明を受けました。たまたま児童クラブの子供や利用団体の方々も居合わせ見学していました。

感謝の手紙とお米が届く 先日、新関小学校 5年生より

心のこもった手紙と精米したばかりの「シビカリ」が五十嵐コーネーターさんを通じていただきました。5年生は春の田植えや稲刈りなど地域の方々「ミ」協役員の応援を借りながら体験学習に取り組んでできました。
「コロナがなければ、例年通りみんなで収穫を祝う会ができたのに残念です。」



・当番を押し付けあっていたこと
・聞こえるように悪口を言うこと

テーマ]

心がチクっとくることや
その場の空気が悪くなった事を

G I P

(五中いじめ対策プロジェクト)

集会



11月24日、新津第五中学校では、以前から生徒会が中心となっていじめをなくすための集会を開催。生徒会自作の劇なども取り入れ、いじめ防止をグループで考え発表し合っていました。

集会の様子はテレビでも放映されました。新関小出身の生徒も活躍しており心強く思いました。

お知らせ 「つるし雛かざり」について

今年3月に新関コミュニティセンターで「つるし雛」を児童クラブで飾りました。駅前の交流センターでも近年開催しています。秋葉区自治協議会では、「つるし雛飾り」を区全体の取り組みとして位置づけ、盛大に実施したいということで新関コミ協にも要請があり賛同いたしました。日程等の詳細は後日ご連絡いたします。

新関コミセンでは新関小学校、認定こども園おひさま、こぐち苑、自治会のお茶の間などが協力していただきます。



◆久しぶりに月食を見ました。秋葉区あたりは時々雲がかかり、最初から最後まで見ることはできませんでした。
◆月食は、地球が太陽と月の間に入り、地球の影が月にかかるときに起こると理科の学習で習いました。理屈は知っていてもやはり神秘的です。月食の理屈がわからなかった昔の人はなおさらだったと思います。

◆日本人は昔から月をめできてきました。今や世界は宇宙の時代に突入。宇宙の争奪戦(?)も。やがては月面に宇宙旅行のミッションが造られることも可能でしょう。しかし、軍事基地でもなったら大変です。宇宙の成り立ちなどいまだ謎に包まれている部分の解明などあくまでも夢のある平和的なものに役立ててほしいものです。

◆コロナの感染者数はかなり減少しました。しかし、忘年会シーズンを迎えた最近、また新たなコロナの変異株「オミクロン」が南アフリカで発見され心配です。

◆季節は12月、とうとう師走を迎えました。最近、雷を伴った雨が続ききました。昔からこの時節の雷を「雪おろし」と呼び、前山が3回白くなると里も本格的な降雪になると言われてきました。五頭山は白くなっています。大雪にならないようにと祈るばかりです。

◆まもなくクリスマス。正月用品もすでに店頭に並んでいます。毎年のことながらせわしない年の瀬、コロナ感染症だけでなくインフルエンザにも要注意です。皆様、ご自愛ください。